

愛川町教育委員会

平成28年1月25日

愛川町教育委員会 1 月定例会会議録

- 1 会議日程 平成28年1月25日（月）
午前9時00分から午前9時53分
- 2 会議場所 愛川町役場2階201会議室
- 3 議事日程 日程第1 前回は議録の承認について
日程第2 教育長報告事項について
（1）教育長報告
日程第3 協議事項について
（1）教育懇話会について
（2）卒業式・入学式「教育委員会のことば」について
（3）平成28年立志式について
日程第4 その他
（1）全国体力・運動能力・運動習慣等調査について
（2）家庭教育推進リーフレットの作成について
（3）かながわ駅伝競走大会について
- 4 出席委員 教育長 佐藤 照 明
教育委員 平 田 明 美
教育委員 榮 利 隆 一
教育委員 梅 澤 秋 久
教育委員 井 上 正 博
- 5 説明を要した者及び議事録作成のため出席した者
教育次長 佐藤 隆 男
教育総務課長 山 田 正 文
生涯学習課長 片 岡 由 美
スポーツ・文化振興課長 相 馬 真 美

教育開発センター指導主事	井 上 真 彰
指導室指導主事	前 盛 朋 樹
生涯学習課主幹（社会教育主事）	茅 泰 幸
生涯学習課副主幹（社会教育主事）	瀧 喜 典
教育総務課副主幹	馬 場 貴 宏

◎開会

- （佐藤教育長） それでは、皆さん、おはようございます。

改めまして、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

それでは、教育委員会1月の定例会を始めたいと思います。

本日の出席委員は5名です。定足数に達しておりますので1月の定例会は成立しました。

本日の議事日程は、お手元に配付されているとおりでございますので、ご承知願ひます。

これより日程に入ります。

◎日程第1

- （佐藤教育長） 初めに、日程第1、前回会議録の承認についてを議題といたします。

12月定例分でございますが、会議録につきましては既に配付のとおりであります。

これより質疑に入ります。

ご意見、ご質疑ありましたら、お願ひいたします。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

- （佐藤教育長） 質疑ありませんので、質疑を終結し、表決に入ります。

日程第1、前回会議録の承認について、本案を原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

- （佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、日程第1、前回会議録の承認については、原案のとおり承認されました。

なお、定例会終了後に会議録署名原本をお回しいたしますので、委員の方は署名をお願ひいたします。

◎日程第2

○（佐藤教育長） 次に、日程第2、教育長報告事項についてを議題といたします。

それでは、第1、教育長報告については、資料1に基づき報告をいたします。

今回の報告については、12月22日から1月24日までの間に出席いたしました主な会議について報告をいたします。

12月22日、まち、ひと、しごと総合戦略について町議会との協議を行いました。

28日は仕事納め式。

平成28年に入りまして、1月4日、仕事始め式。これは例年どおり文化会館で全職員を対象に式が執り行われました。

6日、成人式実行委員会。

9日、土曜、消防出初め式。午後は立科町の駅伝チームの歓迎式がありまして、昨年度は60周年記念ということで2チームが参加しておりましたが、今年度は1チームということで式への参加がありました。

10日、愛川町一周駅伝競走大会。午後が成人式ということでした。

13日、社会教育委員の視察研修ということで横浜方面に行ってまいりました。県立図書館、そして県立歴史博物館を見てきました。大変参考になるいい研修になったと思います。

14日、町議会臨時会、新春講演会・商工団体賀詞交歓会ということでございました。

15日、町青少年指導員会議ということで、今年度最後の青少年指導員の会議に出席させていただき、あいさつをしてまいりました。

16日、福祉団体合同新年賀詞交歓会。

17日、日曜日が愛川町少年柔道大会。これは第5回目ということで、関東近辺、それから遠いところでは京都の宇治からも来ておりまして、非常に盛大に柔道大会が行われていました。

20日からは、2年生の職場体験が行われました。これは3中学校、1人で、20日、21日、22日の3日間の職場体験ということで、教育委員会には、11名の生徒が参加をしまして、各課で仕事を体験しました。

21日、神奈川県町村教育長会宿泊研修会ということで、大井町に行ってまいりました。今、市町村14ございますので、14の教育長が集まりまして研修会とそれから情報交換、グループ会議ということで会議に参加してまいりました。

23日、愛川町体育協会賀詞交歓会。

24日、愛川町青少年健全育成大会ということで、昨日行われましたけれども、小沢区と下谷八菅山区の育成会から発表をしていただきました。各育成会、一生懸命取り組んでいる姿が報告されまして、大変よかったのではないかというふうに思っております。

以上が教育長報告ということで、報告させていただきます。

それでは、何か質問等がありましたら、お願いいたします。

(発言する者なし)

○(佐藤教育長) 特によろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○(佐藤教育長) 質疑ないということで、教育長報告についてご了承願います。

◎日程第3

○(佐藤教育長) 次に、日程第3、協議事項についてを議題といたします。

初めに、教育懇話会についての説明をお願いします。

○(井上教育開発センター指導主事) 1枚おめくりいただいて、資料2をごらんください。

平成27年度教育懇話会の実施細案でございます。

日時は、平成28年2月13日の土曜日4時10分から5時10分までの1時間となります。

この日、1時から愛川町PTA連絡協議会活動研究大会、同じく2時半から教育講演会が行われ、その後、文化会館3階で行うものになります。

学びづくり講演会にご参加いただいている9校の保護者の皆様から各校4名ずつ、36名程度の参加を予定しているものでございます。

ご協議いただきたいものになります。

4番、進行内容、一番左側をごらんください。

4時10分のところ、開会挨拶、空欄の括弧となっております。

また、同じく下から2番目、5時5分のところ、閉会の挨拶、空欄の括弧となっております。

この日、「我が家の子育て～子育ていきいき宣言 私たちができること～」をテーマとして、4グループでお話し合いをしていただくこととなりますが、この開会の挨拶と閉会の挨拶につきましてご協議いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○(佐藤教育長) 以上、説明でありましたけれども、ご質問等がありましたらお願いいたし

ます。

梅澤委員、お願いします。

○（梅澤委員） 2月13日なのですが、大変恐縮ながら、勤務校附属学校の研究発表会に当たっておりまして、指導・助言で行かなければならないため、私、欠席とさせていただきます。恐縮です。申し訳ありません。

○（佐藤教育長） 梅澤委員さん、当日は欠席ということで、参加される委員さんの中から、この開会の挨拶と閉会の挨拶をということでご検討願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

井上委員、お願いします。

○（井上委員） これ、例年は、開会は大体委員長がやっておりました。それから、閉会は職務代理者がやっていたので、ことはそれに準じたという形になるということがいいかなと思いますので、平田職務代理さんに開会をやっていただいて、榮利委員に閉会ということでいかがでしょうか。

○（佐藤教育長） 今、井上委員さんから、例年どおりで考えると、開会のほうは平田委員さん、そして、閉会は榮利委員さんということのご意見が出ましたが、それでよろしいでしょうか。

（「よろしくお願いします」との声あり）

○（佐藤教育長） 今の2件については、そういう形でお願いいたします。

（「ありがとうございました」との声あり）

○（佐藤教育長） 特に内容的なものについてはいかがですか。特によろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） 特にないようですので、1の教育懇話会については、説明のとおりご承認願います。

次に、2番、卒業式・入学式、「教育委員会のことば」についての説明をお願いいたします。

○（前盛指導室指導主事） 「教育委員会のことば」ということで、小学校、それから及び中学校の卒業式及び入学式の言葉をこのように考えさせていただきました。

お読みしたほうがよろしいでしょうか。

○（佐藤教育長） ちょっと時間をいただけますか。

○（前盛指導室指導主事） はい。お読みいただいて、よろしく申し上げます。

○（佐藤教育長） 資料3について、ちょっと目を通していただきたいと思います。

大体目を通せましたでしょうか。卒業式、そして入学式ということで、「教育委員会のことば」ということで今提案がございましたけれども、これについてご意見、ご質問等がありましたら、お願いいたします。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） では、特にご意見等はございませんので、これを各小・中学校に贈るということで、卒業式・入学式の「教育委員会のことば」については、ご了承願います。

次に、3番、28年立志式についての説明をお願いします。

○（片岡生涯学習課長） それでは、平成28年立志式についてご説明を申し上げます。

その前に、先日の成人式につきましては、おかげをもちまして無事に終えることができました。誠にありがとうございました。

それでは、資料4をごらんいただきたいと思います。

立志式につきましては、既にご案内を差し上げておりますけれども、改めてお知らせをさせていただきます。

開催日時は、平成28年2月5日金曜日午後1時の開始となります。

しおりをお開きいただきたいと思います。

中に紙も挟まっておりますが、まずしおりのほう、左側は式次第と来賓、主催者の名簿でございます。

第1部の式典は午後1時から、そして、第2部の講演会は2時ごろからを予定しております。第2部、講演のテーマでございますが、「夢への挑戦～立志をむかえた君たちへ！～」としております。最終ページに講師の方のプロフィールを掲載しましたので、後ほどごらんいただきたいと思います。

見開きの右側のページには、町民憲章と、それから、昨年定められました愛川町教育大綱、こちらを掲載しております。これによりまして、昨年と少しレイアウトを変更しております。

中に挟んであります資料でございますが、第1部の「教育委員会のことば」、こちらを予定しております、佐藤教育長にお願いいたします。

もう1枚は席次表でございますけれども、番号を振らせていただきました。1番が教育長でございます。それから、委員の皆さんは4番から5、6、7番になります。当日、受け付

けが終わりましたら、成人式のと様と同様、文化会館の応接室を控室としてご利用いただきます。私がお案内をステージのほうにさせていただきます。

簡単でございますけれども、立志式については以上でございます。

○（佐藤教育長） これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等がありましたらお願いいたします。

井上委員さん、何かありますでしょうか。

○（井上委員） 席次表は当日配られるんですね。この間に挟み込むのか、それとも内々のものとなるのでしょうか。

○（佐藤教育長） 席次表は当日配られるのかということなんです。

○（瀧生涯学習課副主幹） 当日、受付と一緒に。

○（井上委員） 一緒に配る・・・。

○（瀧生涯学習課副主幹） 委員の皆さま方には・・・。

○（井上委員） つまり、平田委員さんは、正式名が教育長職務代理者だから、委員というよりは、きちんと書いた方がいいんじゃないかと思ったもので。外部に出ていくものだから。

○（瀧生涯学習課副主幹） 訂正いたします。

○（佐藤教育長） 平田委員さんの4番のところの「教育委員会委員」となっているのを、「教育長職務代理者」ということで訂正をお願いします。

ほかにごございますか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） 今回はステージに、例年でしょうけれども、ステージの上には椅子はないということですので、下から上がっていくという形をとるということになっております。

あと、先ほどありましたけれども、パンフレットの方に愛川町の教育大綱を、今年度、策定いたしましたので、案として載せてありますけれども、特によろしいですか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） では、立志式については、この形でご了承願いたいと思います。

それでは、日程第3、協議事項については以上とさせていただきます。

◎日程第4

○（佐藤教育長） 次に、日程第4、その他の議題に移りたいと思います。

まず、1番、全国体力・運動能力・運動習慣等調査についての説明をお願いいたします。

○（前盛指導室指導主事） 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の報告についてさせていただきたいと思います。

資料1ページをおあげください。

資料に沿ってご説明を申し上げます。

まず、体格でございますけれども、身長、体重ともに、多少の全国との比較の中で差は見られるものの、有意な差はないと考えます。ただし肥満傾向につきましては、帯グラフにありますように、全国と比べて肥満の部分がやや多いのかなというふうに考えます。例えば、小学校男子でいえば軽度肥満、そして、小学校女子でいえば、幅としてはとても狭いものになっておりますが、高度肥満が全国と比べて多いのかなというふうに思います。

また、1ページおめくりいただくと、中学校のグラフがございまして、こちら中学校男子では中等度肥満、それから女子では軽度肥満、やや多い傾向にあるのかなというふうに思っております。

また、次に、運動能力・体力でございます。

こちらは総合評価を見ております。体力の合計点では、男女ともに、全国や県と比べて少し低い得点となっております。T得点と申しますのは、全国の平均値に対する相対的な位置を示しているもので、単位や標準偏差の異なる調査結果を比較する、平均点50点に対する標準偏差10点の標準得点となっております。この差を見ております。

全体にA、Bの合計のところは全国と比較して、かなり少ない状況になっているのかなというふうに思います。相対的なものですので、したがって、D、Eが全国と比較して大きくなっております。

種目別に見ております。まず、グラフの見方でございますけれども、全国の平均を50ということでT得点が計算されているということで、愛川町の得点については、四角の棒グラフのところは愛川町の得点となります。ダイヤ形の印については、神奈川県の平均、ちょっと見にくいでございますけれども、ダイヤの一番上のところが神奈川県の数値だと思っただけであれば結構だと思います。

そうしていきますと、例えば小学校男子でいいますと、握力については、全国や県の平均よりも愛川町の得点がいいということになります。逆に、反復横跳び、それから立ち幅跳びというのは、全国に比べて少し低い得点になっているのかなというふうに思います。

総体的に見まして、ほかにも棒グラフの部分が下に向いているところが多うございまして、全国と比較して、体力的には少し劣っているのかなというふうに思います。そのように

グラフを見ていただければ結構かと思えます。

小学校女子につきましては、やはり上体起こし、反復横跳び、立ち幅跳びなどの得点が、全国と比して低いということがわかります。

おめくりいただきまして、中学校でございます。下のT得点の部分をごらんください。中学校男子につきましては、上体起こし、反復横跳び、ハンドボール投げが低い、女子については、同じく上体起こし、反復横跳び、あと立ち幅跳び等が、全国と比較して低いのかなというふうに思えます。

ただ、中学校の女子につきましては、握力、シャトルラン、長座体前屈など、全国よりもいいものがあるというふうに思っております。

続きまして、児童・生徒質問紙でございます。これは、たくさんの質問がある中で、全国と県にも平均のばらつきがございますので、基本的に全国の平均と比較をして、差の大きいものをこちらに書いてございます。全国の数値よりも2倍、もしくは半分、あとは10ポイント以上の差があったものについて書き出しております。町の数値が最初に書いてありまして、括弧内が全国の平均値でございます。そのように見ていただければと思えます。

これらを見てみますと、懸念されるのは、やはり食事や睡眠などの生活習慣の乱れの関係で、少しデータが出ているのかなというふうに思えます。また、あわせて、テレビの視聴時間、ゲームの時間、それから携帯やスマートフォンの使用時間等、5時間以上という数字が全国と比べてかなり多い、ものによっては2倍以上というものもあって、こういった生活習慣とのかかわりは大きいのかなというふうに思えます。

また、健康と、それから生活の意識のところでございますけれども、19-1「健康に運動は大切」かという設問に対して、「あまり大切ではない」とか「大切ではない」と答えている児童が2倍以上、3倍以上いる。もしくは、「健康に睡眠は大切」かと言われて、「あまり大切ではない」と答えている児童が2倍以上というような、意識の部分についても課題があるのかなというふうに思っています。

また、31番「休み時間の過ごし方」でございますけれども、「校舎内で過ごすことが多い」という数字が小学校、中学校ともに高いというところも、町の課題になってくるのかなというふうに思っております。

これらのことから、さまざまな種類の運動を、日ごろから運動に接して取り組む機会をふやしていく。そして、日々の生活を見直し、健康に対する意識を高めていくということが、体力・運動能力を高めていくことと同様に重要であると考えます。

体育・保健体育の授業については、小学校、中学校ともに大変肯定的な回答が多かったので、それに対する、授業の中ではもちろん、休み時間に積極的に外に出て体を使った遊びを行うこと、もしくは、放課後に好きな運動できるような環境を整えていくようなことも必要かもしれません。

また、生涯体育の視点からは、家庭と連携を図りながら、家族と一緒に体を動かす機会をつくることの啓発などを通して、体を動かすことの心地よさを実感、共有できるような取り組みにつなげていけるとよいと考えます。

以上でございます。

○（佐藤教育長） それでは、これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等がありましたらお願いいたします。

梅澤委員、お願いします。

○（梅澤委員） 本町の実態から見て、予想どおりの結果だなというのが率直な感想です。

肥満度は子供の貧困と非常に高い相関があり、同様に、虫歯率も非常に貧困と高い傾向にあると思われまます。今回は虫歯については出ておりませんが、おおむね家庭状況が、こういう数値にあらわれているなという思いでいます。

ちなみに、子供の貧困と関連が高いものに学力がありますが、最近、学力と家庭状況と相関が高いものに体力が入ってまいりました。おうちの人と一緒に運動する頻度が低く、一緒にスポーツに親しむような環境がなく、そのような中で、さらに朝食の欠食率が高く、加えて睡眠状況がよくない。これで、そもそも健康でなかなかいることの意義を感じられない状況で、本町の子供たちは育っているだろうなというふうに思われまます。

やはり、そのような状況において、有効に働くのは学校教育かなと私は考えまます。先ほど指導主事からお話がありまましたとおり、やはり体を動かす楽しさを味わわせること、そういう環境を整えること、そこに尽きるかなというふうに思っています。

非常に本町の先生方は頑張っておられるようで、「体育授業の目標が示されている」「振り返る活動が行われている」あたり、非常に高い数値を示しているように、資料からかいま見ることができます。これ、非常にいいことだなと思いつながら、一方で、非常に状況的に体力条件がよくない子供たちに、目標をどのように設定しているのかが課題になるかと私は考えまます。

旧態依然とした目標達成評価型のカリキュラムをとり続ける以上、格差は拡大するというふうに言われています。この目標の与え方を、ちょっとオープンなもの、これができるみた

いなクローズなものではなくて、いろんな答えが許されるような、そういう目標、我々は主題というふうに言っておりますが、テーマやプロジェクトという主題を与え、その中で子供たちが探求をし、表現し合うような、主題探求表現型の体育学習にスライドしていくことによって、これができなければならないという体育から離れ、より一層、運動自体のおもしろさに授業も変わっていくのではないかと考えています。

そういうふうな学校教育、あるいは学校体育の変革が、体を動かすことのおもしろさを味わわせることにつながり、授業時間外の運動をふやし、結果的に健康や、こういう運動の意義を見出せるようになっていくのではないかと考えています。

以上です。

- （佐藤教育長） 今のご意見が出ましたけれども、事務局、いかがですか。
- （前盛指導室指導主事） ありがとうございます。おっしゃるとおりかなというふうに思います。

学校の体育の中で、非常に子供たちが、技能を高めるということから、体そのものを動かすことの楽しさに気づいていくということが、授業の外に広がっていく、体を動かすことよさを感じて、それが実際の生活に移っていくということにつながろうかと思います。

今、目標設定のことについてご助言いただきましたので、そういった部分も学校にきちんと伝えていきたいと思います。ありがとうございます。

- （佐藤教育長） 梅澤委員さん、よろしいでしょうか。
- （梅澤委員） はい。
- （佐藤教育長） ほかにいかがでしょうか。
- （梅澤委員） 加えて、もう1点だけ。
- （佐藤教育長） はい、梅澤委員。
- （梅澤委員） 先ほど前盛指導主事がおっしゃったとおり、家庭との連携をやっぱり図っていくこと、すごく大事なかなというふうに思います。

健康の意義を感じていないというのはとても残念なことで、これは、いわゆる社会保障の問題とかともつながってくると思うんですね。今、やはり肥満度が高いということは、生涯的に、いわゆる生活習慣病率が上がってくると。そうすると、いわゆる、たくさん医療関係の予算が必要になるということが考えられますので、これは国全体として、また地域としても、あるいはその子、あるいはその家庭にしても、絶対よくない方向に進み始めている、そのベクトルを持ってしまっているというふうに考えられますので、ぜひ保護者に、こういう

いい情報、こういうことが大事なんだよということを伝えていただければ、健康への意義の共有になるかなと思います。ぜひ、よろしくお願いいたします。

○（佐藤教育長） 健康面ということの、今提案がございましたけれども、保護者への働きかけは、事務局、生涯学習でやっているんでしょうかね。

○（瀧生涯学習課副主幹） 連携して、内容によってということ。

○（佐藤教育長） 何かパンフレットをつくって、今呼びかけをしているとか、そういうのは今ないですか。

○（瀧生涯学習課副主幹） 特にはないですね。

○（佐藤教育長） 今の点については、また、どう啓発していくかというのでもあると思いますので、事務局、検討をお願いできたらと思います。

（「あと……」との声あり）

○（佐藤教育長） どうぞ。

○（片岡生涯学習課長） 家庭学級講座みたいなものを委託してやっていただいていますけれども、その中で食育講座ですとか、そういうものを自分たちで、今年はこのものをテーマに勉強しようというような、そんなような働きはしていただいていますので、私どものほうからも、こういったような講座もどうですかというような投げかけはできると思います。

○（佐藤教育長） いろんところで啓発していく必要があるのかなという感じがしますけれども、ほかにどうでしょうか、ありますでしょうか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） ほかに質疑ありませんので、全国体力・運動能力・運動習慣等調査についてはご了承願います。

次に、2番、家庭教育推進リーフレットの作成についての説明を、事務局、お願いいたします。

○（茅生涯学習課主幹） それでは、お願いいたします。

愛川町家庭教育推進リーフレットについて説明させていただきます。

資料の6番をごらんいただけますでしょうか。

こちらのリーフレット作成の目的は、保護者に家庭教育の推進を啓発するとともに、小・中学校9年間を見据えた学校教育と家庭教育との連携の必要性をわかっていただくことです。

今度中に、こちらのリーフレットを5,000部作成し、町内の小・中学校の保護者及び教職員等に配付したいと考えております。

28年度は、各小・中学校の保護者、教職員全てに配付しますが、保護者に対しては、入学式や懇談会等、直接説明のできる機会を各学校で工夫してもらいます。なお、29、30年度については、小・中学校の新1年生に配付する計画でおります。

下にあります色刷りのリーフレットをごらんいただけますでしょうか。委員さんの皆さん、色刷りのほうのをお配りさせていただいているかと思うのですが、こちらの内容について説明させていただきます。

まず、表の面につきましては、平成22年度、教育委員会で行しました「子育ていきいき宣言」をもとにしたものになっております。先ほどの体力・運動能力の調査の中でもありましたけれども、朝御飯などについては、やはり家庭の中で進めていかないと、なかなか踏み込んでいけないところかと思えます。この22年度に出したものを、改めて保護者の皆様に提示していきたいと思えます。

中面をごらんいただけますでしょうか。平成25年度に、こちらは愛川東中学校区で作成した、小・中学校一貫の学びの勧めといったものがあるのですが、この内容を盛り込んでおります。こちらのリーフレットについては、家庭教育推進の視点でつくっておりますので、その東中学校区でつくったものの内容を、家庭教育での取り組みを上段にし、学校教育を下段に並びかえをしております。

それから、裏面をごらんいただきますと、子供たちの地域活動への参加やPTA活動等を通した保護者の学び、こういった社会教育の視点についての啓発も盛り込ませていただいております。

本日、こちらの内容についてご了解いただければ、今後、校長会に提示した上で、業者に印刷を発注し、3月中には学校に配付したいと考えております。

説明は以上です。よろしくお願いいたします。

○（佐藤教育長） これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等がありましたら、よろしくお願いいたします。

（「一つよろしいですか」との声あり）

○（佐藤教育長） 榮利委員、お願いします。

○（榮利委員） 結構前だと思うんですけども、町の広報の中にシリーズ家庭というのがあって、その中で、いろんな教育のこととか、家庭のこととか、そういうのがずっと載ってい

たんですよ。

今回これ、配付するのは、一般家庭にはいかないんですよ。その辺は、配付する部署として、どう考えているかというところをちょっとお聞かせ願いたいんですけども。

○（佐藤教育長） 事務局、お願いします。

○（茅生涯学習課主幹） シリーズ家庭については、年2回から3回、家庭教育の推進という視点でテーマを決めまして、町民に向けて発信をしています。昨年度は、子育ていきいき宣言を広報あいかわの中に盛り込みまして、啓発をしまいました。

内容は毎回、事務局で検討している中で、広報あいかわで紹介をされていていっているんですけども、今回のこの家庭教育推進リーフレットというのは、基本は義務教育9年間を見据えた啓発というところで、全ての保護者にこちらを配付し、できるだけ直接この内容を届けて、まずは義務教育に子供がいる保護者の皆さんに、進めてくださいという狙いで行っています。

ですから、町の広報も今後、町民に向けて啓発する一方、このリーフレットは、小・中学校の保護者に向けたメッセージということで作成していきたいと考えています。

○（佐藤教育長） 榮利委員さん、いかがでしょうか。

○（榮利委員） 地域とつながっているところというのは、やっぱり、余り教育委員会の中でも、また学校とは違うつながり方というのがあって、それと今課題になっている、家庭をどう結びつけるかというのは、教育委員会としては、学校を通じたり、地域の活動を通じたりして、つながらないといけないんですよ。

そういったときに、実際に家庭と密接につながっているところはどこかということ、今、具体的にどこかということ、なかなかないですよ。高齢化社会になって、子供たちがどんどん少なくなっている中で、学校だけに働きかけても、ちょっと私は足りないかなと。だから、地域の役員であったり、育成会の役員であったり、お子さんがいない方についても、こういうものを今後9年間の中で、町としてはやっていくんだという意味があるんだったら、少し知らしめていくというのも必要じゃないかなと思うんですけども、どうですかね。

○（茅生涯学習課主幹） ご提案ありがとうございます。

今、今回、作成部数5,000部ということで、これは小・中学校の保護者、教職員に配付とあるんですが、それ以外にも若干250部ほどは、外へ発信できるような部数を考えておりますので、例えば育成会の会議であったり、PTAの会議ですとか、そういったところ、広く広めていけるように努力をしていきたいと思えます。

実際、今回、先ほど教育懇話会のことが話題になったかと思うんですけども、そこでも

子育ていきいき宣言をテーマにして、その宣言をどうやってみんなで進めていけることができるかといったことも考えていく予定であります。

まずはPTAの方に考えていただき、そこから広めていっていただければなというふうに思っていますので、学校だけの取り組みでなく、最終的には地域に広めればよろしいかと思っています。

ありがとうございます。

○（榮利委員） よろしいですか。

○（佐藤教育長） どうぞ、榮利委員さん。

○（榮利委員） 先ほども話出ていましたけれども、やっぱり生活習慣だったり、学力と体力の話とか、密接につながっているんですね。だから、そういう、まずは共通認識を図るというのは、できるだけ私はたくさんの人に、愛川町の実態はこうなんだというのを、あらゆる機会を通じて、体力面ではこうだよとか、学力面ではこうだよというのを、よくわかってもらうというのは非常に大事なことなので、今回の資料を使って、いろんな機会があったらそこで説明していただいて、今実態はこうなので、各団体の方、こういうところを部分的に、こういうところをお願いします、学校はこういうところをお願いしますというような、そういう共通な場でもって少しずつ変えていくというのが、非常に大事になると思うんですね。だから、その辺は、今言われたように、少しでもいろんな人に共通理解をしていただくという面で、考えてやっていただきたいと思うんですよ。よろしくをお願いします。

○（佐藤教育長） ありがとうございます。

では、今の意見については、今後どういう形で啓発していくか、対象も含めて、またご検討していただくということで、今回については、小・中学校の保護者を対象とした形で、今回これを配付するという形で、今は考えているということですね。

梅澤委員、お願いします。

○（梅澤委員） 内容については素晴らしいなと思っています。先ほどの体力や健康の話、生活習慣に関する保護者への啓発も入っておりますし、私は内容はこれでいいかなと思うんです。ただ、渡し方ですね。そこに尽きるかなと思います。

先ほどあった食育講座、やっぱり来る親って、多分上位層の親なんです。PTA活動、やっぱり熱心な親たちが中心に回っていきます。残念ながら、なかなか親としてかかわりたいんだけど、かかわれない親のお子さんたちが、かなり本町の場合は多いかなというふうに思うんですね。

なので、親としてのスイッチが入る瞬間、例えば小学校の入学式、そういう瞬間をうまく使って、学校の先生が、健康の意義であるとか、早寝早起き、朝御飯の有効性であるとか、マイナスも伝えたほうが良いと思うんです、そういう親には。食べさせないとこうなっちゃうんですよ、でも、食べさせるとこういういいことがあるんですよということを、やっぱり親スイッチが入った瞬間に伝える必要があるかなと思います。

一度そのスイッチを入れたあげくに、定期的に、何年かに1回でもいいと思うんですが、やっぱりこういうものが大事だなということを改めて再認識させるチャンスを継続していくことが、多分、家庭環境をちょっとずつ変えるきっかけになるかなと思います。ぜひよろしくお願いいたします。

○（佐藤教育長） ほかにございますか。

平田委員、お願いします。

○（平田委員） 私は、これを配付するメンバーのところなんですけれども、この間、ミニ駅伝をやりましたよね。ミニ駅伝に今すごく、子供たちの参加が多くなっていますので、あれには保護者の方が随分力を入れておいでになっています。ああいう方たちも、学校にも足を運んでいらっしゃるお母さんたちだと思うんですけれども、またそれとは別に、ああいうところじゃなければ来ないというお母さんたちもおいでになると思うんですね。そういう方たちにもできるような形をとっていただければ。

という、今、ミニ駅伝に出ているチームの吸い上げをしていると思いますので、そういうところにも目配りしていただいて、ちょっと幅は広くなると思うんですけれども、そういう活用もしていただくといいかなと思います。お願いいたします。

○（佐藤教育長） ほかにございますでしょうか。

井上委員、お願いします。

○（井上委員） 部数ですけれども、作成部数の5,000部というのは3年間の部数ですよ。数的には余裕があるんですか、5,000部というのは。

○（茅生涯学習課主幹） はい、余裕を持った計画にはしております。

ただ、3年の中で、きちんとそれは配付し切って、また見直しをかけて、4年後にはまた少し進んだものが出せたらなという思いで、今つくっておるんですが、ここである余裕部数という、教育委員会に250部ですが、それを出せる場面というのを検討しながら、無駄にならないように、やはり伝えたいところにそれが届くようにしたいと考えています。

○（井上委員） 5,000部の中の余裕の部分は、有効活用ということで、きりきりなのかなと

かというふうになんかと思ったんですけども、29年、30年に中学校の親に配るということは、今の5・6年生は2回もらうわけで、これは中学校に入ったときに改めてという意識があるので、一度配っているけれども再度配るという意味なのかなと思っていたんですけども、余裕があればそのほうがいいわけで、そういうことですよね。

○（茅生涯学習課主幹） はい、そういうことです。

梅澤委員さんも先ほど言われましたけれども、やっぱり親のスイッチが入る場面で、やっぱり入学という、すごい大事なタイミングだと思うんですよね。そこは逃さずに配付していきたいなと考えております。

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

○（井上委員） はい。

○（佐藤教育長） ほかにございますか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） では、今いろいろご意見出ましたので、また事務局で検討していただいて、前向きに対応をお願いしたいと思います。

ほかに特にないようですので、2番の家庭教育推進リーフレットの作成についてはご了承願います。

次に、3番、かながわ駅伝競走大会について説明をお願いいたします。

○（相馬スポーツ・文化振興課長） それでは、資料7になります。

まずもって、改めまして、先日の第61回愛川町一周駅伝競走大会にご協力いただきまして、まことにありがとうございました。この場をおかりしまして厚く御礼を申し上げます。

それでは、資料7をごらんいただきたいと思います。

第70回目になります市町村対抗かながわ駅伝競争大会についてでございます。お手元の実施要項をごらんいただきたいと思います。

かながわ駅伝につきましては、来月2月14日の日曜日午前9時に秦野市中央運動公園をスタートいたしまして、ゴールの県立相模湖公園までの全長51.9キロ、7区間で行われます。

主催は、a11かながわスポーツゲームズ実行委員会をはじめ、神奈川県教育委員会、一般財団法人神奈川陸上競技協会、株式会社神奈川新聞社でございます。

後援といたしましては、公益財団法人神奈川県体育協会のほか、秦野市、伊勢原市教育委員会、厚木市教育委員会、大和市、相模原市教育委員会、愛川町教育委員会となっておりますので、ご承知おきいただきたいと思います。

開会式につきましては、午前8時20分から秦野市中央運動公園総合体育館前で行われますが、雨天の場合はサブアリーナでの開催となります。

スタートは午前9時スタート、閉会式につきましては、午後、お昼の12時45分から県立相模湖公園の芝生の広場で行われますが、雨天の場合は相模湖漕艇場の本部棟での開催となります。

なお、資料の3枚目の裏面にコースの概略図を参考に添付させていただいておりますけれども、愛川町を走る区間につきましては、前回と同様、第6区の第5中継所をスタートする上荻野北部自治会館前から串川出張所前までの10.7キロで、国道412号線の田代坂上の平山坂を通過して、半原の真名倉坂を上る区間となっております。

次の4枚目に、選手のそれぞれの区間や中継所などの通過予定時刻の資料を添付をさせていただきましたので、応援可能な場所をご確認いただきまして、ぜひとも愛川町チームの選手への応援・声援について、よろしくお願ひしたいと思います。

次に、要項の1枚目の9番に戻っていただきまして、チーム編成についてでありますけれども、監督1名のほか選手7名、高校生以上の男子が5名、中学生男子が1名、中学生以上の女子1名の7人編成であります。また、補欠の選手が4名ということで、高校生以上の男子が2名、中学生男子が1名、中学生以上の女子1名の合計11名のチーム編成となっております。

なお、一番後ろのページの裏面に選手団の名簿を掲載させていただきましたので、後ほどご確認をいただきたいと思ひます。

なお、今回70回の記念大会となりますので、資料の3枚目に、そちらをごらんいただきたいと思ひますけれども、例年、人数、チーム層の関係から、チーム編成ができず参加ができていない真鶴町・湯河原町・清川村の合同チームによる参加ということで、県というか実行委員会が認めておまして、今回合同チームでの参加となりますけれども、その3枚目の資料に、合同チームの編成に係る申し合わせ事項が載っておりますので、内容については後ほどご確認をいただきたいと思ひます。

また、今回、70回大会ということで、神奈川県のカブテレビ局の共同で作成する、神奈川のアスリートを紹介するスポーツドキュメンタリー「かながわ情熱アスリート」という番組がございまして、そちらで、このかながわ駅伝の模様を3月に放送を予定しているということでありますので、3月になりましたら、放映がありましたら、そちらをごらんいただきたいということであります。

説明については以上です。

- （佐藤教育長） それでは、これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

- （佐藤教育長） 特に質疑ございませんので、3番のかながわ駅伝競走大会についてはご了承願います。

本日の案件につきましては全て終了いたしました。各委員さんからご意見、ご感想等がありましたら、お願いいたします。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） よろしいでしょうか。

それでは、特にございませんので、事務局で何かございますか。

（「特にありません」との声あり）

- （佐藤教育長） それでは、以上で1月の定例会の議事日程を全て終了いたしましたので、閉会としたいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

- （佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、1月定例会を閉会いたします。

長時間にわたりまして、お疲れさまでございました。

愛川町教育委員会会議規則第17条第2項の規定により、ここに署名をいたします。

平成28年2月22日

教育委員会教育長

佐藤 昭明

教育委員会

教育長職務代理者

平田 明美

教 育 委 員

柴 利 隆 一

教 育 委 員

梅 澤 秋 久

教 育 委 員

井 上 正 博

調 整 職 員

馬 場 貴 宏